

## 年頭のご挨拶



鹿児島市長

森 博 幸

新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。鹿児島市医師会の皆様には、常日頃から、本市主催の各種協議会等への参画、予防接種や健診、介護保険の認定、夜間急病センターの管理運営など、保健・福祉分野はもとより、桜島総合防災訓練への参加など、市政の各方面にわたり、温かいご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年は、明治維新150周年という節目の年にあたり、大河ドラマ「西郷どん」で鹿児島は大いに盛り上がるとともに、市民の皆様にとりましても、改めて郷土に対する誇りや愛着をもっていただく契機となりました。

医療分野では、明治維新の翌年にあたる明治2年に、イギリス人医師ウイリアム・ウイリスが来鹿し、英国式西洋医学を鹿児島の地に導入しました。

そういう意味では、今年は近代医学・医療の幕開けからちょうど150年の節目とも言え、診療に加え、医学教育による人材育成や予防医学の観点を含む近代西洋医学の潮流は今も脈々と受け継がれています。

さて、市民の皆様の健康づくりと医療の充実は、行政の最重要課題の一つであり、現在、本市では、「健やかに暮らせる安全で安心なまち」を掲げ、市民の皆様の健康づくりと医療の充実に取り組んでおり、がん検診や特定健診をはじめとする精度の高い予防医療や質

の高い地域医療の充実を図っております。今後さらに高齢化の進行が見込まれる中、地域包括ケアの推進等により、誰もが健康で生きがいを持って健やかに暮らせるまちづくりを進めてまいります。

引き続き、皆様方と緊密に連携しながら、質の高い地域医療の充実と、市民の健康増進を推進してまいりたいと考えておりますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

ところで、今年は、歴史的な皇位継承の年にあたり、新たな時代への第一歩を踏み出すこととなります。また、我が国初となるラグビーワールドカップ開催を控えております。平成のその先に向かって、市民の皆様とともに、情熱とチャレンジ精神あふれるスクラムを組み、希望に満ちた新時代へのトライを目指して、力強く進んでまいりたいと考えております。

本年も市政の推進に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、新しい年が未来への夢と希望の持てるすばらしい年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。